

2024年度 試験問題

(2023年10月22日実施)

基礎学習能力

試験時間 60分

【注 意】

1. この問題冊子は指示があるまで開いてはいけない。
2. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
3. 問題冊子の各ページの余白は自由に使用してよい。
4. 試験終了後、解答用紙は通路側に置くこと。なお、問題冊子は持ち帰ること。

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

あなたが心理学の研究室の(イ) イライで、10ホールのミニチュアゴルフをすることになったとしよう。また、あなたは白人大学生で、それなりにスポーツ好きだったとする。ゴルフクラブを手にとろうとしたとき、これは「生まれつきの運動神経」を測定するミンガン運動適性検査(MAAT)の一環だと説明がなされた。さて、あなたはどのくらいのスコアを出せるだろう。運動神経を測定すると言われたことが、プレーに影響を与えるだろうか。

この実験を行ったプリンストン大学のジェフ・ストーン教授率いる社会心理学者のチームは、非常に興味深い発見をした。「運動神経を測定する」と言われた白人学生は、そう言われなかった白人学生よりも、ずっとスコアが悪かったのだ。どちらも同じくらいシン(ロ) ケンに取り組んでいたのに、最終的なスコアは平均3打差がついた。

「自分の運動神経が測定される」と思うことの何が、これほど明確なスコアの差につながったのか。これは彼らが白人であることと関係があると、ジェフのチームは考えた。ここでの用語で言うと、運動神経が評価される状況で生じる、白人であるがゆえのアイデンティティ付随条件と関係がある。この付随条件は、白人は、少なくとも黒人と比べて運動神経が鈍いという、現代社会で広く知られたステレオタイプに由来する。白人学生たちもこの社会の一員である以上、このステレオタイプを知っている。そんなのは嘘だと思っけていても、自分の集団に欠けていると言われる特性を測定する実験だと直前に言われて、動揺したのかもしれない。成績が悪ければ、そのステレオタイプが自分自身と、自分が属する集団の特性として正しかったと思われてしまうのではないかと。その不安が、何も告げられなかった学生と平均3打差がつくほど彼らを動揺させ、集中力を奪ったのかもしれない。

「白人は運動神経が鈍い」というステレオタイプと、ゴルフが下手だと「やっぱり」と思われてしまうかもしれないという脅威は、私の子ども時代のプール使用制限のように、該当者の行動に直接制約をかける付随条件ではない。ゴルフのプレーそのものに制約を加えるものではなかったし、物理的なハンディーを与えたわけでもない。それでもそれは、白人学生がゴルフをするうえでのアイデンティティ付随条件となった。「成績が悪ければ、不愉快なステレオタイプが正しいと証明することになるか、証明しているとみなされる可能性がある。成績がよければ、その人種的ステレオタイプが正しいと思われることはない」。これは、彼らが白人だからこそ対峙しなければならなかった、(ハ) 追加的なプレッシャーだ。脅威の霧は彼らにつきまとい、一度でもへまをすれば、運動神経が鈍い白人の若者と決めつけられ、そのように扱われる可能性があることを示唆する。

ジェフのチームはこの仮説に基づき、さらに多くの問いを設定した。

プリンストンの白人学生たちが、「ゴルフできみたちの運動神経を測定する」と告げら

れると、ステレオタイプ化される不安から集中力を失い、ゴルフの成績が悪くなったのだとすれば、黒人学生は同じことを言われても、ゴルフの成績にまったく影響はないはずだ。□ A □ 黒人は、「運動神経が鈍い」というステレオタイプを持たれていないからだ。果たして、(二) 結果はそのとおりになった。ジェフのチームが、まったく同じ手順でプリンストンの黒人学生にも実験を行ったところ、運動神経を測定すると告げられた学生も、告げられなかった学生も、ゴルフの成績に違いはなかったのだ。

このことは、「運動神経を測定する」と告げられたとき、白人学生のプレーを動揺させたのは、「白人は運動神経が鈍い」という社会全般に存在するステレオタイプに由来する脅威だったことを、一段と示唆していた。

それでもジェフのチームは満足しなかった。そして自分たちの仮説が正しいことを証明する別の方法を考案した。

特定の集団に関するステレオタイプが、ゴルフのように具体的な行動に影響を与えるほど大きな脅威をどんな人にも与えるなら、黒人学生のゴルフに影響を与えるようなステレオタイプ脅威も設定できるはずだ。つまり、黒人に関するネガティブなステレオタイプを思い起こさせることを直前に告げるのだ。そうすれば黒人学生は、先の実験の白人学生のように、自分の集団に関するネガティブなステレオタイプをはねのけようとして、そのプレッシャーから実力を十分に発揮できなくなるはずだ。

そこでジェフのチームは黒人学生と白人学生を新たに集めて、ゴルフをやってもらい直前に、これは「スポーツ・インテリジェンス」を測定する実験だと告げた。黒人学生たちは、「黒人はさほど^(ホ) インテリジェント (知的) ではない」という、昔ながらの極めてネガティブなステレオタイプを当てはめられてしまうのではないかというプレッシャーにさらされる。パットを沈めるとき小さなミスでもすれば、知性の乏しい黒人青年と決めつけられるという不安が引き起こされる。これが巨大なアイデンティティ付随条件となり、彼らの集中力を削ぎ、プレーに影響を与えるという仮説だ。一方、同じことを告げられた白人学生は、ステレオタイプ脅威の影響を受けない。なぜなら白人は、知性が低いというステレオタイプを持たれていないからだ。

結果は劇的だった。今度は黒人学生がステレオタイプ脅威に苦しみ、白人学生はステレオタイプ脅威とは無縁だった。黒人学生のスコアは、白人学生よりも平均4打以上多かった。

ゴルフで運動神経を測定すると言われたときの白人学生と、ゴルフでスポーツ・インテリジェンスを測定すると言われたときの黒人学生が直面したアイデンティティ付随条件は、どちらもスイミングプールの使用制限のような物理的制約ではなく、目に見えない脅威だった。すなわち自分のゴルフの成績が、自分が所属する集団または自分自身に関するネガティブなステレオタイプを、その集団の特性として追認するか、追認したとみなされる恐れだ。たとえ物理的制約でなくても、この付随条件は大きな影響を与えた。

普通なら 22～24 打で終わられるミニチュアゴルフコースで、白人は 3 打、黒人は 5 打も多く要したのだ。

(クロード・スティーブル 藤原朝子 訳『ステレオタイプの科学』による。一部改変)

問 1 文中の下線部 (イ)「イライ」を 2 文字の漢字で書き表したとき、その 2 文字の合計の画数として最も適切なものを、次の①～⑩の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ① 20 | ② 21 | ③ 22 | ④ 23 | ⑤ 24 |
| ⑥ 25 | ⑦ 26 | ⑧ 27 | ⑨ 28 | ⑩ 29 |

問 2 文中の下線部 (ロ) を漢字で書き表したとき、それと同じ漢字を含むものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 有名なケンゴウ同士が戦う。
- ② ケンリョクが一人に集中する。
- ③ その判断はケンメイだった。
- ④ 一生ケンメイ、努力する。
- ⑤ 消火設備をテンケンする。

問 3 文中の下線部 (ハ) の内容についての記述として最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① ゴルフの成績が悪いと、黒人よりも白人が人種として劣っていると思われてしまうのではないか、というプレッシャー。
- ② ゴルフの成績が悪いと、白人は運動神経が鈍い、というステレオタイプが正しいものと思われてしまうのではないか、というプレッシャー。
- ③ ゴルフの成績が悪いと、運動神経が鈍い人と思われてしまうのではないか、というプレッシャー。
- ④ ゴルフの成績が悪いと、知性の低さとも関係していると思われてしまうのではないか、というプレッシャー。
- ⑤ 自分の運動神経に自信がないので、ゴルフで良い成績を上げられないのではないか、というプレッシャー。

問4 文中の空所 A に入る語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① しかしながら ② なぜなら ③ それでも
④ とどのつまり ⑤ だから

問5 文中の下線部 (ニ) の「結果はそのとおり」とは、どのようなことを指すか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 運動神経を測定すると告げられた黒人学生も、告げられなかった黒人学生も、ゴルフの成績に違いがなかったこと。
② 運動神経を測定すると告げられた黒人学生は、告げられなかった黒人学生に比べ、ゴルフの成績が悪かったこと。
③ 運動神経を測定すると告げられた黒人学生も、告げられなかった黒人学生も、白人学生に比べゴルフの成績が良かったこと。
④ 運動神経を測定すると告げられた黒人学生も、告げられなかった黒人学生も、白人学生に比べてゴルフの成績が悪かったこと。
⑤ 運動神経の良し悪しは、黒人学生の場合にはゴルフの成績にまったく関係がなかったこと。

問6 文中の下線部 (ホ) を英語で書きなさい。

問7 この文章における筆者の主張と合致するものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① ステレオタイプによる脅威は、強力で強固なため、どんな人でも克服するのは不可能である。
- ② ネガティブなステレオタイプを追認してしまうのではないか、という脅威が、人のパフォーマンスを抑制してしまう可能性がある。
- ③ 白人は運動神経が鈍い、というステレオタイプや、黒人は知的ではない、というステレオタイプは強固なため、社会の中でそれらを覆すことは難しい。
- ④ 人は、良いステレオタイプには影響を受けないが、悪いステレオタイプには影響を受けてしまうものである。
- ⑤ ネガティブなステレオタイプは、人のパフォーマンスを抑制してしまうので、極力排除するよう心掛けなければならない。

問題Ⅱ 商品 A, B, C, D を販売している小売店が, 春期, 夏期, 秋期, 冬期の 4 つの期ごとに, 各商品の売上高を調査した。そして, 商品ごとに, 全 4 期の売上高の合計を計算した結果, 以下の事実が判明した。これを前提として後の各問に答えなさい。

- 商品 D の全 4 期の売上高の合計は 300 万円であった。
- 商品 D の秋期の売上高は商品 D の春期の売上高の 2 倍であった。
- 各商品について, 全 4 期の売上高の合計に対する各期の売上高の割合を求めたところ, 次のような表となった。なお, この表の数値は四捨五入, 切り上げ, 切り捨てを行っていない。

	商品 A	商品 B	商品 C	商品 D
春期	35 %	10 %	25 %	(エ) %
夏期	33 %	30 %	17.5 %	20 %
秋期	25 %	(ア) %	35 %	(オ) %
冬期	7 %	(イ) %	(ウ) %	30 %

問 1 表中の空白 (ウ) に入る値として最も適切なものを, 次の①~⑧の中から 1 つ選び, 記号で答えなさい。

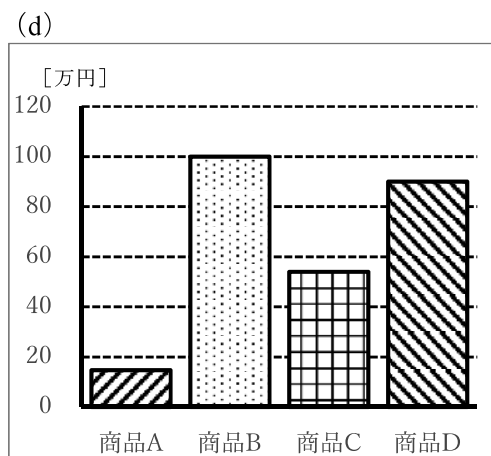
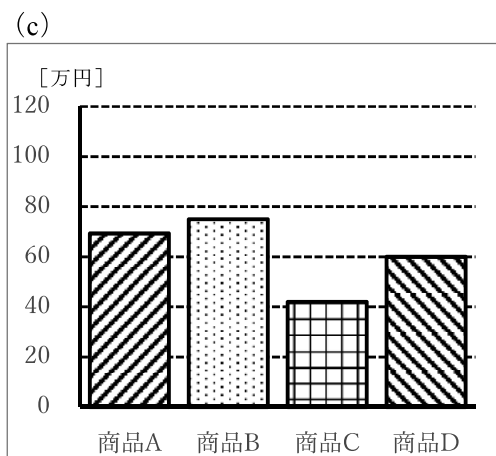
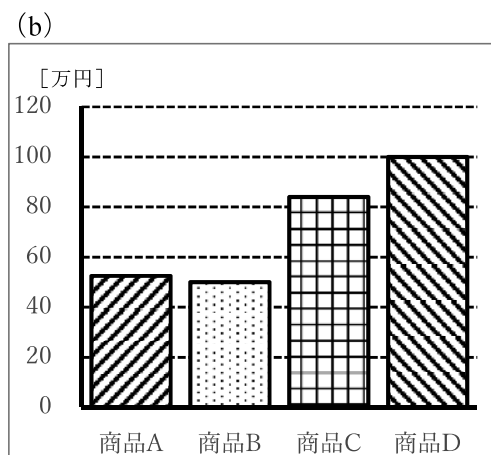
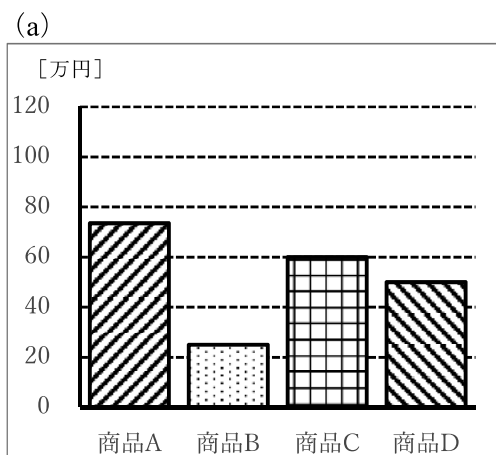
- ① 5.2 ② 10.7 ③ 22.5 ④ 30.3
 ⑤ 42.1 ⑥ 52 ⑦ 62 ⑧ 75.5

問 2 上記の事実に加えて, 商品 D の夏期の売上高が商品 C の春期の売上高と同じであることが分かった。このとき, 商品 C の全 4 期の売上高の合計は何万円か。値を求め, 整数で答えなさい。

問3 秋期から冬期にかけての商品 B の売上高の増加率は 100 %であることが分かった。
表中の空白 (ア) に入る値として最も適切なものを、次の①~⑧の中から 1 つ選び、
記号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|------|
| ① 10.5 | ② 20 | ③ 22.5 | ④ 30 |
| ⑤ 33.3 | ⑥ 45.2 | ⑦ 50 | ⑧ 60 |

問4 問2, 問3の事実に加えて, 商品Aの全4期の売上高の合計が210万円であることが分かった。その後, 商品A, B, C, Dの売上高を記した棒グラフを期ごとに作成した。次の(a)~(d)のグラフは, 春期, 夏期, 秋期, 冬期のいずれかの期のグラフである。これらを, 春期, 夏期, 秋期, 冬期の順に並べたとき, その並び順として最も適切なものを, 次の①~⑧の中から1つ選び, 記号で答えなさい。



- | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|
| ① | (a) → (b) → (c) → (d) | ② | (a) → (c) → (b) → (d) |
| ③ | (b) → (c) → (a) → (d) | ④ | (b) → (d) → (c) → (a) |
| ⑤ | (c) → (a) → (b) → (d) | ⑥ | (c) → (b) → (d) → (a) |
| ⑦ | (d) → (a) → (c) → (b) | ⑧ | (d) → (b) → (c) → (a) |

問題Ⅲ 以下の各問に答えなさい。

問 1 ある大学で哲学を履修しているある学生が、課題として 10 ページのレポートを提出した。この学生はこのレポートを 1 ページ目から順に 10 日間かけて完成した。この学生はある 2 日間で 1 ページを書き、ある 3 日間で 1 ページを書いた。また、ある 1 日で 2 ページを書き、ある 1 日で 3 ページを書いた。それ以外のすべての日は 1 日で 1 ページずつ書いた。

(1) この学生のレポート作成について、次の a~c のうち、必ずしも誤りとはいえないものはどれか。最も適切なものを次の①~⑧の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

a : 2 日目に 6 ページ目を書いていた。

b : 5 日目に 2 ページ目を書いていた。

c : 8 日目に 9 ページ目を書いていた。

- ① a ② b ③ c ④ a と b
⑤ a と c ⑥ b と c ⑦ a と b と c ⑧ すべて誤りである

(2) この学生のレポート作成について、次の d~f のうち、必ずしも誤りとはいえないものはどれか。最も適切なものを次の①~⑧の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

d : 1 ページ目だけを書いていた日がある。

e : 5 ページ目と 6 ページ目だけを書いていた日がある。

f : 6 ページ目から 8 ページ目だけを書いていた日がある。

- ① d ② e ③ f ④ d と e
⑤ d と f ⑥ e と f ⑦ d と e と f ⑧ すべて誤りである

問2 ある保育園の園児 25 人に、リンゴ、ミカン、イチゴの 3 種類の果物をそれぞれ 1 個ずつ配った。実際、園児が食べた果物について次のことがわかっている。これに基づいて、後の各問に答えなさい。

- ・園児 2 人はいずれの果物も食べなかった。
- ・1 個の果物のみ食べた園児は 4 人だった。
- ・ミカンを食べた園児は 15 人だったが、このうち 6 人はリンゴを食べなかった。
- ・リンゴのみを食べた園児は 1 人だった。
- ・園児が食べた果物の総数は 47 個だった。

(1) リンゴ、ミカン、イチゴのすべての果物を食べた園児は何人か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 1 人 ② 2 人 ③ 3 人 ④ 4 人 ⑤ 5 人

(2) 次の a～c のうち、明らかに誤っているものはどれか。最も適切なものを、次の①～⑧の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

a: ミカンのみ食べた園児は 1 人だった。

b: リンゴを食べた園児は 16 人だった。

c: リンゴを食べたがイチゴは食べなかった園児は 4 人だった。

- ① a ② b ③ c ④ a と b
⑤ a と c ⑥ b と c ⑦ a と b と c ⑧ すべて誤りとはいえない

問3 The average age of students A, B, and C is 13. The age difference between student A and student B is 3. Student B and student C are of the same age. In addition, student A is older than student C. What age is student A? Select the correct answer from the following choices.

- ① 11 ② 12 ③ 13 ④ 14 ⑤ 15

問題Ⅳ 以下の各問に答えなさい。

問 1 xy 平面に $y = 4$, $y = 2x$, $y = \frac{1}{2}x$ の 3 つ直線を描いた。

(1) これら 3 つの直線によって作られる三角形の面積を求め、整数または分数で答えなさい。なお、分数で解答する場合には、既約分数（それ以上、約分できない分数）にして真分数または仮分数とすること。

(2) 描いた 3 つの直線を参考にして、 $y \leq 4$, $y \leq 2x$, $y \geq \frac{1}{2}x$ の 3 つの不等式を同時に満たす (x, y) のうち、 x と y のいずれもが正の整数となる組合せはいくつあるか。最も適切なものを、次の①～⑧の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 12 組 ② 13 組 ③ 14 組 ④ 15 組
⑤ 16 組 ⑥ 17 組 ⑦ 18 組 ⑧ 19 組

問 2 0 から 3 までの数字が 1 つずつ各面に書かれた正四面体のサイコロがあり、それを振ったとき各面が同様に確からしく水平な地面と接する。このサイコロを水平な地面に振ったときに地面と接した面に書かれている数字を出目とし、このサイコロを 4 回振り、1 回目の出目を a , 2 回目の出目を b , 3 回目の出目を c , 4 回目の出目を d とする。

(1) $1000a + 100b + 10c + d = 2023$ となる確率を求め、整数または分数で答えなさい。なお、分数で解答する場合には、既約分数（それ以上、約分できない分数）にして真分数または仮分数とすること。

(2) $a + b + c + d = 5$ となる確率として最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① $\frac{5}{4}$ ② $\frac{5}{16}$ ③ $\frac{5}{32}$ ④ $\frac{5}{64}$ ⑤ $\frac{5}{128}$